
	<h1>学校だより</h1> 	令和2年11月30日 横浜市立大曾根小学校 TEL 542-1785 FAX 541-0949
-----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

平常心

がっこうちょう 学校長 たんば のりあき 丹波 悟亮

「校長先生、だるまさんが転んだを一緒にやろう。」1年生の子どもたちに声をかけてもらい、だるまさんが転んだを一緒にやりました。広い場所で大人数でやる、だるまさんが転んだは、とても楽しかったです。子どもたちも、笑顔が絶えませんでした。

1年生の梅林公園、大倉山記念館の遠足での出来事です。新型コロナウイルスの影響で例年とは違った遠足となりましたが、交通ルールを守って歩く、友達と協力して仲良く遊ぶなどのめあてをもって活動していました。3密を避けて、クラスごとに、時間ごとに活動を入れ替えて、活動しました。ゲームの前には、司会者がルール説明をして、児童主体で行われました。時間を守り、友達と声を掛け合いながら協力して取り組む姿に成長を感じました。

1日だけ入学式をした後にすぐ臨時休校、6月の分散登校、短縮された夏休み、入れ替え制の運動会と教師から見ると、例年と違う取り組みばかりですが、1年生にとっては、すべてが初めての経験で、例年との違いよりも、1つ1つの活動を力いっぱい楽しんでいます。

2年生の遠足でも、3年生の遠足でも、とてもいい活動ができたようです。例年と違うから、いい活動ができないのかと思ってしまいますが、実際には、めあてをしっかりとって活動していると、子どもたちは成長していきます。そういえば、運動会も例年とは違うやり方でしたが、子どもたちは実に生き生きとして、活動に取り組み成長していました。

コロナ禍ではありますが、大曾根小学校の子どもたちは元気に学校に登校し、笑顔いっぱい、校庭を全力で走り回り、頭をフル回転させて勉強に取り組んでいます。外で起こっていることがどんなに変わっていても、心の中が変わらない平常心であれば、乗り越えていけます。今流行の言葉で言えば「呼吸を整え、全集中」でしょうか。

子どもたちが、何か特別な力をもって、何かに立ち向かうのではなく、心の中を平常に保って活動すれば、豊かな学びとなります。周りに惑わされず、先を見据え、落ち着いた心。平常心が、困難を乗り越えるキーワードです。